

死刑制度に関する内閣府（総理府）世論調査の結果

1 死刑の存廃

調査年月	①死刑存続	②死刑廃止	③わからない
昭和31年 4月	65.0%	18.0%	17.0%
昭和42年 6月	70.5%	16.0%	13.5%
昭和50年 5月	56.9%	20.7%	22.5%
昭和55年 6月	62.3%	14.3%	23.4%
平成 元年 6月	66.5%	15.7%	17.8%
平成 6年 9月	73.8%	13.6%	12.6%
平成11年 9月	79.3%	8.8%	11.9%
平成16年12月	81.4%	6.0%	12.5%
平成21年12月	85.6%	5.7%	8.6%

注)

- 昭和31年4月から平成元年6月までの調査における質問
今の日本で、どんな場合でも死刑を廃止しようという意見に賛成か、反対か。
- 平成6年9月から平成21年12月までの調査における質問
死刑制度に関して、このような意見がありますが、あなたはどちらの意見に賛成ですか。
 - ①「場合によっては死刑もやむを得ない。」
 - ②「どんな場合でも死刑は廃止すべきである。」
 - ③「わからない・一概に言えない。」

2 死刑制度を廃止すべきであるとする理由（平成21年調査）（複数回答）

- ・ 生かしておいて罪の償いをさせた方がよい・・・・・・・・・・ 55.9%
- ・ 裁判に誤りがあったとき、死刑にしてしまうと
取り返しがつかない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43.2%
- ・ 国家であっても人を殺すことは許されない・・・・・・・・・・ 42.3%
- ・ 人を殺すことは刑罰であっても人道に反し、
野蛮である・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30.6%

- ・死刑を廃止しても、そのために凶悪な犯罪が増加するとは思わない・・・ 29.7%
- ・凶悪な犯罪を犯した者でも、更生の可能性がある・・・ 18.9%

3 死刑制度を存置すべきであるとする理由（平成21年調査）（複数回答）

- ・死刑を廃止すれば、被害を受けた人やその家族の気持ち収まらない・・・ 54.1%
- ・凶悪な犯罪は命を持って償うべきだ・・・ 53.2%
- ・死刑を廃止すれば、凶悪な犯罪が増える・・・ 51.5%
- ・凶悪な犯罪を犯す人は生かしておくで、また同じような犯罪を犯す危険がある・・・ 41.7%

4 死刑の犯罪抑止力

調査年月	増える	増えない	わからない
昭和42年 6月	52.4%	30.6%	17.0%
昭和55年 6月	56.3%	19.6%	24.1%
平成 元年 6月	67.0%	12.4%	20.6%
平成 6年 9月	52.3%	12.9%	35.7%
平成11年 9月	54.4%	8.4%	37.2%
平成16年12月	60.3%	6.0%	33.7%
平成21年12月	62.3%	9.6%	28.0%

注)

- 昭和42年6月から平成元年6月までの調査における質問
あなたは、死刑という刑罰をなくしてしまうと悪質な犯罪が増えると思いますか、別に増えるとは思いませんか
- 平成6年9月から平成21年12月までの調査における質問
死刑がなくなった場合、凶悪な犯罪が増えるという意見がありますが、あなたはどのようにお考えになりますか